

東京都中学校英語教育研究会（中英研）研究部授業公開
兼 東京都教師道場研究授業
兼 府中市中学校教育研究会（府教研）英語部研究授業
兼 府中市府中第二中学校英語科校内研修

授業者 府中市立府中第二中学校教諭 田口 徹
助言者 武蔵野大学教授 長 勝彦

英語科学習指導案

1 日 時：平成19年 2月23日（金）6校時 2時30分～3時20分（50分）

2 場 所：府中市立府中第二中学校 格技室

3 学校概要：来年度創立60周年行事 普通学級15クラス（各学年5クラス）身障学級1クラス 授業改善に力を入れ各教科で研究授業実施
英語科専任3名 少人数やTT等は行なわず、各学年を専任教諭が週3時間指導 授業者は1年学年主任で1年5クラス担当 副担任
ALTは月1回程度（今年度は派遣会社の不手際で年間2回で終了）

4 クラス：1年C組（男子18名 女子17名 計 35名）

男女ともリーダーがしっかりといて、穏やかでまとまりのあるクラスである。ただし、全体的におとなしく、私が担当する1年生5クラスの中でも授業中の反応が鈍く、全体練習の声が小さかったり、自主的な発表者が少なかったりして私から何度も注意されてきた。定期考査の平均点も学年では常に最下位で1学期の期末では男子の平均が50点を割り込み、他のクラスから20点近く離され、私から“非常事態宣言”が出された。2学期になり生徒たちの意識も徐々に変化し、宿題忘れが減り、今まで発表しなかった生徒が勇気を出して手を挙げるようになってきた。また全体の声も少しずつ出るようになってきた。2学期の期末の平均点では他のクラスとほぼ肩を並べるようになった。本日はその頑張りを先生方に見ていただきたい。

5 本時のねらい

- 1) 教科書P88の内容を理解し、正しい強勢・イントネーション・区切りなどを意識して、音読できるようにする。
- 2) 教科書の文を使って、自分の過去の楽しかった体験を、気持ちを込めて他者に伝えることができるようにする。

6 教材：三省堂 *NEWCROWN ENGLISH SERIES New Edition 1* Lesson 9(A Letter from the UK)—① (P88) 別紙参照

7 単元の指導計画

- ① イギリスやナショナルトラストについての基礎的な背景知識を学び興味を持たせる。（別紙 WORKOUT NO25 参照）
- ② 一般動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文（規則動詞）の形を理解し、定型文を言えて、書けるようにする。
- ③ 教科書P88の内容を理解し、正しい発音で音読することができる。教科書P88の英文を使って自分の過去の体験を発表できるようにする。
- ④ 教科書P89の内容を理解し、正しい発音で音読することができるようにする。
- ⑤ 一般動詞の過去形の文の定着と、動詞の中には不規則に変化するものがあることを知り、不規則動詞を使って過去の体験を言えるようにする。
- ⑥ 教科書P90の内容を理解し、正しい発音で音読することができるようにする。
- ⑦ Lesson 9 まとめ 一般動詞過去形 文法のまとめ

8 補助教具：教科書準拠のフラッシュカード・ピクチャーカード・バーコードリーダー・タイマー・教材提示装置・またはコンピュータ
プロジェクター・スナップ写真・点検用はんこ

9 この単元の評価の観点

1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	本当に知りたい、伝えたいという気持ちで英語を使用しているか。自分の体験を気持ちを込めて伝えようとしているか。
2	表現の能力	自分の過去の体験を、過去形のルールを守って相手に話したり、書いたりすることができるか。また相手の過去の体験についてたずねることができるか。教科書を正しい発音で音読できるか。
3	理解の能力	教科書手紙文の内容を理解したか。他者の過去の体験を聞いたり、読んだりして、理解できるか。過去のことについて聞かれたとき、理解できるか。
4	言語や文化についての知識・理解	一般動詞の過去形（肯定文・疑問文・応答文・否定文・不規則動詞）のルールを理解しているか。イギリスやナショナルトラストについての基本的な知識が身に付いたか。手紙文の形式を理解したか。

10 普段の指導・私の信念

- ① 生徒の名前を覚える事が授業成功の第一歩！ 私は全員の生徒の名前を親しみを込めてファーストネームで呼んでいる。生徒の家族構成、趣味、学力などもある程度頭に入れながら授業をすすめている。
- ② 授業にはリズムがなければならない。リズムのある授業とは教師の入念な準備が行なわれ、4技能の活動がバランスよく配置され、無駄な間がなく、生徒が気づかないうちに、新しい活動に進んでいき授業が終わるのが早く感じる授業のことである。
- ③ 普段の授業は「国際理解教室」で行い、生徒が教室移動してくる。休み時間も教室内では、私は英語を使うようにしている。教室内は英語の音楽・ビデオを流し、掲示物も日本語を排除し生徒の作品や海外のポスターなどを展示して英語の学習をする環境を整えている。
- ④ 授業中はできるだけ英語を使うようにしている。使用する語彙には注意するが、話す速度は最初の授業から natural speed で話している。込み入っ

た文法の説明や文化的な背景の説明は日本語を使用する。

⑤ 語彙指導について

授業中使用する語彙は教科書だけにはとどまらない。特に言語材料の導入や練習で使用する英語は類推可能な場合は未習の語彙でも使用している。教科書の単語は市販のフラッシュカードを使用して、発音のモデル提示、意味の説明、発音練習、スペリングの確認を行なっている。教科書以外の語彙を与えるときは、生徒が「知りたい」という気持ちが強いときに与えるようにしている。もちろんそのような語彙は、書くレベルまでは求めない。

⑥ 「楽しくなければ英語の授業じゃない！」が私のモットー 教師は役者であり演出家でなければならない。

⑦ 文法事項は結論をすぐに教えずに、使用される英語の場面設定をはっきりして生徒にルールを発見させるようにしている。また文法用語も最小限に押さえている。

⑧ 1文ごとに和訳はしていない。英語は英語で理解するように指導している。和訳は教科書学習後、定期テスト前に印刷して配布している。

⑨ 生徒が活動する場面（ペアワーク・プレゼンテーション・Show and Tell 等）を多く取り入れ生徒の発話量を増やすようにしている。

⑩ 宿題は writing を中心に必ず出し、ディクテーションテスト（文の書取り）スペリングテストもほぼ毎時間行っている。

*用紙は資料参照

【本時の指導過程】

指導項目 配当時間	教師の活動	生徒の活動	*留意点・○教具・◎評価の観点方法等
1 あいさつ 5分 Warm up Greeting Teacher Talk	①元気よくあいさつする。 ②参観者の紹介と歓迎・出欠の確認・曜日・日付・天気・週末の予定等を確認する。“旬”のテーマで過去形を使って話をする。	元気よくあいさつをする。 拍手で参観者を歓迎する。 教師の質問に答える。わからないときは聞き返す。	◎理解の能力（聞く）表現の能力（話す） *全体を必ず集中させ、教師の方を見てから授業を始める。最初に温かい雰囲気を作る。
2 復習 10分 Teacher Talk Free Pair Work (1 min.) Check of important words Dictation Test	①朝、テレビを見たか、またどの局の番組を見たか、たずねる。 ②NHKnews を見た生徒を調査させる。 机間巡視して、正しく英語を使用しているか確認。 ③NHKnews を見た生徒を報告させる。 ④前時の重要単語をフラッシュする。 生徒が書いているスペリングが正しいか確認する。 ⑤英文を2つ3回ずつ読む。 1 I visited Australia last year. 2 Did you watch TV yesterday? ⑥正解を黒板に書き、ポイントを確認	教師の質問に答える。わからないときは聞き返す。 自由に席を立てて英語でたずねる。 Did you watch NHK news this morning? Yes, I did. / No, I didn't. 代表の生徒が発表する。 Sa watched NHK news this morning. 単語を発音し、スペリングを指で空中に書く。 教師の言った英文を書き取る。 後ろから用紙を回収する。 合っていたか確認する。	◎理解の能力（聞く）表現の能力（話す） ◎評価方法は個人を指名し、下位の生徒が答えられれば全員理解できたと判断する。 *使用する英語を確認してから始める。 ○タイマー *朝の番組、中学生の視聴率調査に内容の重点を置き、過去形を使用する自然な場面設定をする。 ○テスト用紙は事前に係が配布 ◎理解の能力（聞く）表現の能力（書く） ○黒板またはプロジェクター
3 教科書 20分 Oral Interaction Presentation of New words Choral→individual Pre-reading (30 seconds) (30 seconds) While-reading	①教科書のピクチャーカードを見せながら英語で説明し P88 の場面を生徒に理解させる。 特に Mary と Ken の関係、これから読む英文が手紙文であることを押さえる。 ②フラッシュカードを使いながら、発音のモデルと意味が類推できる例を英語で与える。 ③フラッシュカードを見せながら全体→個人の順で発音させる。2回発音させるときは指を2本示す。 ⑤教科書を読むポイントを提示する。 1)この手紙は Mary から急に届いたの？ 2)Mary にとって去年楽しかった事は何？ 答えを確認する。 ⑥教科書を読むポイントを再度提示する。 3) Ken が Mary に送った手紙の内容 4) Mary が Ken の手紙を受け取ったのはいつ？ 5) 過去形の動詞がいくつあるか。 答えを確認する。 ⑦CD を流す。	話を集中して聞く。質問に答える。 *教科書は見ない。 教師の後について発音する。 例を聞いて意味を類推する。 カードを見ながらすばやく正しく発音する。 教科書を開き、1)～2)のポイントに注意しながら黙読し、答えの根拠となる文にアンダーラインを引く。 わかった生徒は手を挙げて答える。 黙読し答えの根拠となる文にアンダーライン、動詞を赤でアンダーラインを引く。 わかった生徒は手を挙げて答える。 指で英文を追いながら CD を聞き、発音を確認する。	○ピクチャーカード ◎理解の能力（聞く）表現の能力（話す） *Oral Interaction は教科書すべての内容を説明せず、読んでみたい気持ちにさせることを目標とする。 ○フラッシュカード letter/dear/receive/ask/enjoy/place/ *英語を見せて2回発音させる。 *日本語を見せて1回発音させる。 ◎理解の能力（読む） ○プロジェクター ○タイマー ○バーコードリピーター

<p>Explanation</p> <p>Mim-mem Reading aloud</p>	<p>⑦本文の内容を1文ずつ説明する。 手紙の形式・慣用句・発音（連音） 気持ちの込め方などを説明する。 ⑧CDを流す。</p> <p>⑨教科書のモデル読み（2回） ⑩教科書本文の日本語を順番に1文ずつ 言う ⑪本文の最初の語句を Cue として与 える。 ⑫教科書本文の日本語をランダムに1 文ずつ言う</p>	<p>教師の話を集中して聞く。重要な部分にアン ダーラインを引いたり、教科書にメモす る。質問に答える。 指で英文を追いながら CD を聞き、発音と 意味を確認する。 教師の後について元気に音読する。 英語に直して音読する。</p> <p>その文を最後まで読む。</p> <p>その内容の英文を選んで音読する。</p>	<p>*訳ではなく、具体例を示すことで理解 させる。 ◎言語や文化についての知識・理解 *enjoy / very much / beautiful 等、感 情表現の言い方についても言及する。</p> <p>◎表現の能力（話す） *音読する時は、本を持って正しい姿勢 で読ませる。</p>
<p>4 表現活動10分</p> <p>Non-stop reading (Buzz reading)</p> <p>Pair Work 1~2</p> <p>Stamp Chance</p>	<p>①教科書の最後の3文を使って、生徒自 身が昨年行って楽しかった場所につ いて発表するよう指示する。モデルとして 教師自身の例を、写真を見せながら発表 し、イメージを持たせる。 机間巡視して質問に答える。</p> <p>②ペアで練習させる。</p> <p>③前に出てきて昨年の楽しかった思い 出を発表するよう指示する。 発表後、その場で5段階で評価し、よか った点や直すべき点をコメントする。</p>	<p>話を集中して聞く。</p> <p>各自で単語を入れ替え、教科書を見なが ら練習する。わからないことがあれば教師に 質問する。</p> <p>じゃんけんで勝った生徒ができるだけ教 科書を見ないで発表。負けた生徒は教科書 を見ながらそれを聞き、わからない発音は 教えあう。片方が終わったら交代。発表し ない生徒は教科書を見ながらでも可。</p> <p>希望者は手を挙げて前に出てきて、何も見 ずに発表する。 全員で評価の数だけ拍手する。</p>	<p>◎表現の能力（話す） *できれば自分の文を1文付け加える よう指示する。 ○プロジェクター ○スナップ写真</p> <p>◎Stamp Chance の評価基準</p> <p>5 完全に覚えて英語の発音も自然で、気持ちがこも っている。聞き手をしっかり見ている。 4 ほぼ覚えて、いくつか発音や視線が気になる点 があるが気持ちがこもっている。 3 詰まることもあるが内容はなんとか理解でき るが、話すというより、丸暗記しただけ。 2 何度も詰まり発音のミスが目立ち、通じない文 が混ざっていた。 1 1文程度しか言えない。発音にも問題あり。</p>
<p>5 まとめ 5分</p> <p>Check of homework</p> <p>Greeting</p> <p>6 あいさつ</p>	<p>① ノートに自分の体験を3つの英文で 書かせる。 ② 終わった生徒はワークブックの P92~93 をやるよう指示する。 ③ 机間巡視して宿題を点検する。 Stamp Chance にチャレンジした 生徒には評価の数だけはんこを押 す。</p> <p>生徒の頑張りを誉める。 元気よくあいさつする。</p>	<p>自分の体験を3つの英文で書く。</p> <p>ワークブックをやる。</p> <p>宿題をやった部分を開いておく。</p> <p>元気よくあいさつする。</p>	<p>◎表現の能力（書く）</p> <p>○はんこ</p> <p>*来週月曜から試験で本時の内容は範 囲外なので宿題はなし。</p>

* 資料 Dictation Sheet

いつも休み時間に係が配り、各自英語で事前に日付、名前を書いておくことになっています。大量に印刷し国際理解教室に置いてあります。採点は正しく文が書き取れていればはんこ2つ、1カ所間違えば1つ それ以上は0で生徒に返却します。生徒はそれをノートに貼ります。学期に1回はんこ数えを行い、そこで集計して評定の材料にします。(はんこは学期で100個になるよう調整しています。)

Date: _____
English Quiz Class: _____ Number: _____ Name _____



○ 授業見学ありがとうございました。ご質問・感想・アドバイスなどがありましたら協議会で発言をお願いいたします。後日メールでもかまいません。(toru18@jcom.home.ne.jp)

MEMO